

6.15西の浜エクスカーション

参加ありがとうございます



約10Kmの西の浜海岸

奥に見えるのは伊良湖岬と三重県の神島



愛知県田原市「西の浜海岸」

主催：22世紀奈佐の浜プロジェクト委員会・愛知県会議

後援：中部地方環境事務所、中部地方整備局、愛知県、岐阜県、三重県、名古屋市、田原市、鳥羽市

協力：National Park Resort 休暇村「伊良湖」

この取り組みは、公益財団法人河川財河川整備基金、あいち森と緑づくり環境活動・学習推進事業、清流の国ぎふ森林税の助成を受けて実施しています。

西の浜エクスカージョン

伊勢湾の漂着ゴミは年間約1万トン、そのうち半分が鳥羽市に漂着することがわかりました。なかでも、のり・魚で有名な美しい答志島の奈佐の浜に数千トンのゴミが漂着しています。また、答志島の対岸、渥美半島の田原市西の浜にも多くの漂着ゴミが押し寄せています。西の浜エクスカージョンでは、西の浜の海岸清掃を通じ、伊勢・三河湾流域全体で、地域の環境問題、流域の保全等について考えていきたいと思ひます。

22世紀奈佐の浜プロジェクト

伊勢湾流域を発生源とする流下ゴミは年々増え続け、年間1万tを超えられています。その2分の1が三重県の鳥羽市に漂着ゴミとして打ち上げられています。なかでも、のり、わかめ、牡蠣などが特産で自然の眺めが美しい答志島に年間数千tの漂着ゴミが押し寄せてきます。島の皆さんや漁業関係者は何とかのり網を守りたいと、ゴミを集めますが、拾っても拾っても、次のゴミが押し寄せてきます。しかも、答志島の皆さんは奈佐の浜に漂着したゴミをオイルフェンスで囲って、再び漂着ゴミとなって他の地域に害を及ぼさないようにしています。島の人達の力だけでこの問題を解決するにはすでに限界を超えています。ここに、我々、伊勢湾流域で活動する森・川・海的环境団体も、一つの目標に向け、全員で協力し、行動しようではありませんか。

- 5年後に奈佐の浜の漂着ゴミの3分の1減
 - 10年後に奈佐の浜の漂着ゴミの半減
 - 100年後の奈佐の浜の漂着ゴミゼロ
- “奈佐の浜に 伊勢湾に 豊かな海を取り戻そう”**



◆発足の経緯

これまで、伊勢湾・三河湾流域・沿岸の愛知、岐阜、三重の各地で市民団体による清掃活動が行われていました。また、市民団体の連携を大切にする活動が各地で展開されていました。

- 平成24年1月29日
「ゴミと水を考える集い」で東海3県の市民団体による答志島の清掃活動が提案されました。
- 平成24年2月26日
「森・川・海ひだみの流域シンポジウム」で連携が議論されました。フォーラム終了後に、奈佐の浜プロジェクトの発足と平成24年度の活動実施を決定しました。
- 平成24年3月3日
「伊勢湾流域再生フォーラム」で答志島桃取漁協の小浦さんが実情を訴えました。
- 平成24年3月11日
奈佐の浜プロジェクトへの参加呼びかけや規約・体制を確認しました。
- 平成24年4月1日
22世紀奈佐の浜プロジェクトが発足しました。

◆これまでの活動

- 平成24年6月9日 **答志島奈佐の浜海岸清掃**
東海三県から奈佐の浜に集結、300人が清掃活動を行いました。
- 平成24年9月8日 **答志島奈佐の浜・鳥羽市安楽島海岸清掃**
答志島奈佐の浜、鳥羽市安楽島へ東海三県から500人が集まりました。清掃活動終了後「奈佐の浜シンポジウム」が開催され、「22世紀奈佐の浜プロジェクトアピール」が採択されました。
- 平成25年6月8日 **長良川エクスカージョン**
伊勢湾の注ぐ代表的な長良川の上流、郡上市を訪れ、流域や森林の現状を学びました。東海三県から150人が郡上市明宝地区に集まり、郡上の森林の視察、森林づくり活動、上流域の活動紹介・意見交換会を行いました。
- 平成25年10月13日 **答志島奈佐の浜海岸清掃**
東海三県から奈佐の浜に集結、300人が清掃活動、交流会を行いました。

◆これからの活動

流域各地の現状を学ぶ「流域エクスカージョン」と「答志島奈佐の浜海岸清掃」を活動の軸とします。さらに流域各地で開される流域保全の活動や清掃活動に積極的に参加し、活動のネットワークを拡げていきます。



来年春のエクスカージョンは三重県雲出川流域で開催

6. 15西の浜エクスカーションの主な行程

- 06:20以降 各県からバス出発
- 09:30 受付開始
三県からバスで西の浜活動海岸(風車の西)に集合
- 10:00 始まりの会 司会進行 亀の子隊小学生の皆さん
地元代表から歓迎の挨拶と活動内容と注意事項(小学生の皆さん)
収集作業開始
- 11:00 活動終了、集合、現地のまとめ、ミニマルシェ開催告知
記念集合写真撮影
- 11:10 ミニマルシェ開催
- 11:30 国民休暇村にバスで移動
- 11:45 国民休暇村大食堂で昼食(地元産大アサリどんぶり+しらす小鉢)
学習会会場前でミニマルシェ継続開催
- 12:45 伊勢三河湾流域学習会
★開会 司会進行 亀の子隊・大久保ゆり、内山川ホテルを守る会・原田郁郎
★主催者挨拶 奈佐の浜プロジェクト委員会委員長 小浦嘉門
★来賓あいさつ 鈴木克幸田原市長、
加藤正人東三河総局長
鈴木国交省三河港湾事務所長
★基調報告 西の浜のごみの状況と活動報告
環境ボランティアサークル亀の子隊代表 鈴木吉春さん
★地元中学生「ドリーム会」活動発表
★愛知県環境部から「愛知県の海岸漂着物と対策について」
愛知県環境部資源循環推進課 国立将光主任
★中部ESD拠点協議会から 古澤礼太事務局長
- <トイレ休憩>
- 13:45 ★矢作川、豊川流域と三河湾の活動団体の発表と交流
☆矢作川「川会議」
☆矢作川流域圏懇談会
☆佐奈川の会
☆みなと塾
☆赤羽根塾
☆パチンコオータ
★奈佐の浜実行委員会事務局より 森 一知事務局長
★閉会のことば 同愛知県代表幹事(代理) 近藤朗幹事
- 15:00 閉会・解散
各県に向けてバス出発



注目される！奈佐の浜プロジェクト

伊勢湾流域から大量に漂着する 答志島のごみを100年後にゼロに

22世紀奈佐の浜プロジェクト事務局長 森一知



伊勢湾の清掃活動の様子

このプロジェクトが立ち上がる以前から私は、コンビニートの店にアカリミガメを呼び戻そうと、テーマに、四日市市三万又保存会として、三重県四日市市の古崎海岸で、毎月第一日曜日に清掃活動をしていました。二〇〇九年か



プロジェクト名の由来は、伊勢湾と三重県答志島にある伊勢のことで、伊勢湾には中部地区から様々なゴミが流れ出していて、そのゴミの多くが三重県答志島に漂着しています。

から始め、今年で十五年になります。二〇一〇年の七月には、三万又にアカリミガメが産卵しました。

しかし、どんなにゴミを拾ってきても、大数の落ちたゴミには、流木やプラスチックのごみで海岸は埋まっています。二重県が行った調査によると、答志島に漂着する伊勢湾全体の漂着ごみは約一万トンで、そのうち約五千トンが伊勢湾市に、そしてその半分以上が答志島に流れ着いているのです。答志島は、伊勢湾流からの栄養分で、おいしい海苔が採れますが、その一部に流れ着いてくるごみで汚染されて、採れにくくなっています。

いときには漁船を港から出さないくらいに「ゴミ」が漂着し、それを知らずに答志島に打ち上げられるゴミを拾うだけでは解決しないと思い、環境団体のシンポジウムなどに参加も参加して、答志島の現状を伝える、ごみを減らすの話をしました。

東海三県の環境団体などが結集し、昨年一月には、東海三県の環境団体など一六団体が集まって、ごみと水を減らす集いが愛知県清洲港で開催され、三県合同で答志島の伊勢湾で清掃活動をするのが決まりました。そのために立ち上がった22世紀奈佐の浜プロジェクトは、答志島の浜の清掃ごみを五年後に半減、十年後にゼロにする目標を掲げています。昨年八月に行われた清掃活動には、三県の市民三百人が参加しました。答志島の人たちも半つくりの清掃員を掲げて参加してくれました。清掃活動は九月にも行われました。

漂着ごみで埋まる
砂浜の現状を訪え

地元の古崎海岸では、毎日の清掃の後には自然観察会や音楽会をしています。今年一月は、今年一月は、自然観察会をしました。今年一月は、自然観察会をしました。今年一月は、自然観察会をしました。

伊勢湾の漂着ごみの大半は流木がごみの大半

22世紀奈佐の浜プロジェクト事務局長 森一知

奈佐の浜プロジェクト委員会へのおさそい

100年後、奈佐の浜の漂着ごみを「ゼロ」にするために、プロジェクトアピールに賛同していただいた、環境団体、市民団体のみなさんに、22世紀奈佐の浜プロジェクトのご参加をお願いしています。

各団体の代表者の方は合わせて、22世紀 奈佐の浜プロジェクトの委員になっていただきます。(年会費は無料)

委員の名簿はホームページに掲載して、団体名、住所、代表者氏名、連絡先、活動内容は基本的に公開していきます。

メール、郵便物、ホームページ等で、参加団体の活動情報、イベント情報等を発信し、相互協力、相互交流を積極的に推進していきます。



2013.02 vol.19

だから今、西の浜エクスカージョン！

- ①平成19・20年度 全国7県・11海岸で実態調査実施【太平洋側鳥羽市のみ】
- ②漂流・漂着ごみに係る国内削減方策モデル調査（環境省）の結果
愛知・岐阜・三重の三県から流れ出た伊勢湾の漂着ゴミは年間11,654トン。
その内半分が鳥羽市に漂着し、答志島にはその半分（全体の4分の1以上）
がたどり着いています。
- ③鳥羽市の対岸西の浜にも流れ着いています。
- ④そのゴミはどこから来ているでしょうか？
だから今、西の浜エクスカージョン！！

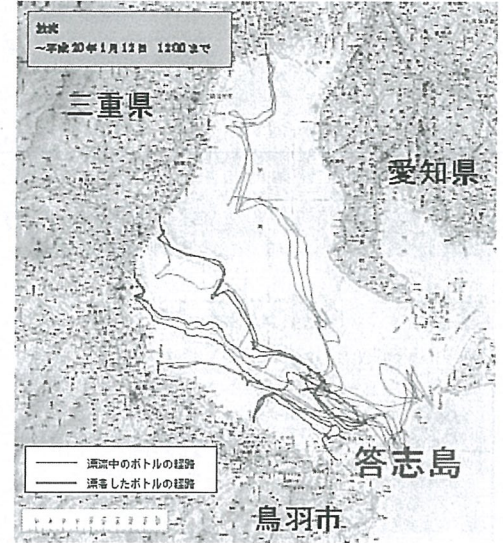
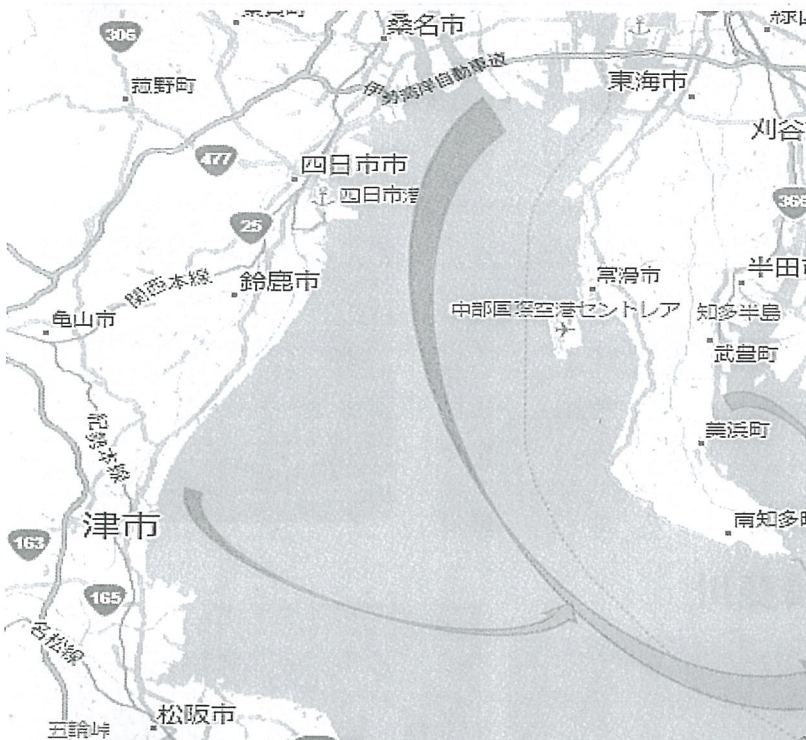
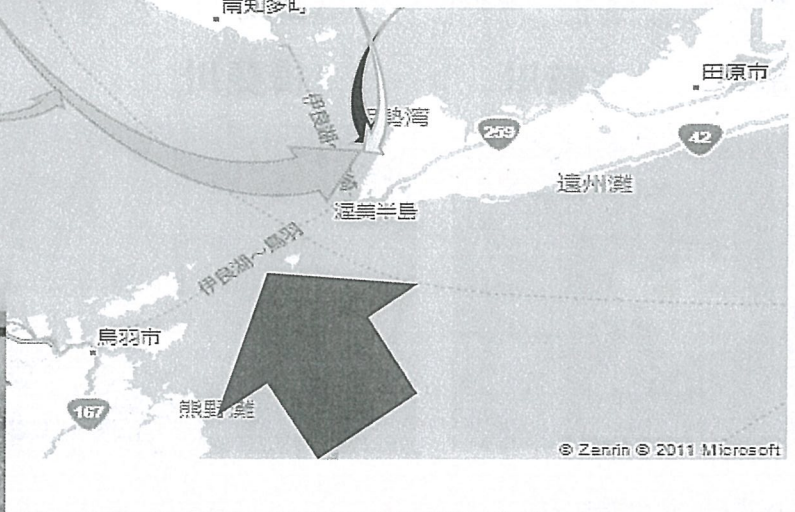
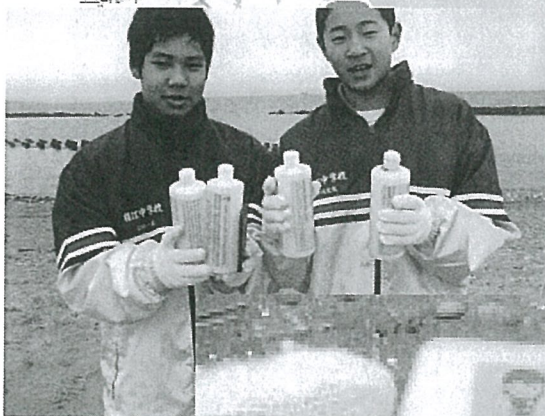
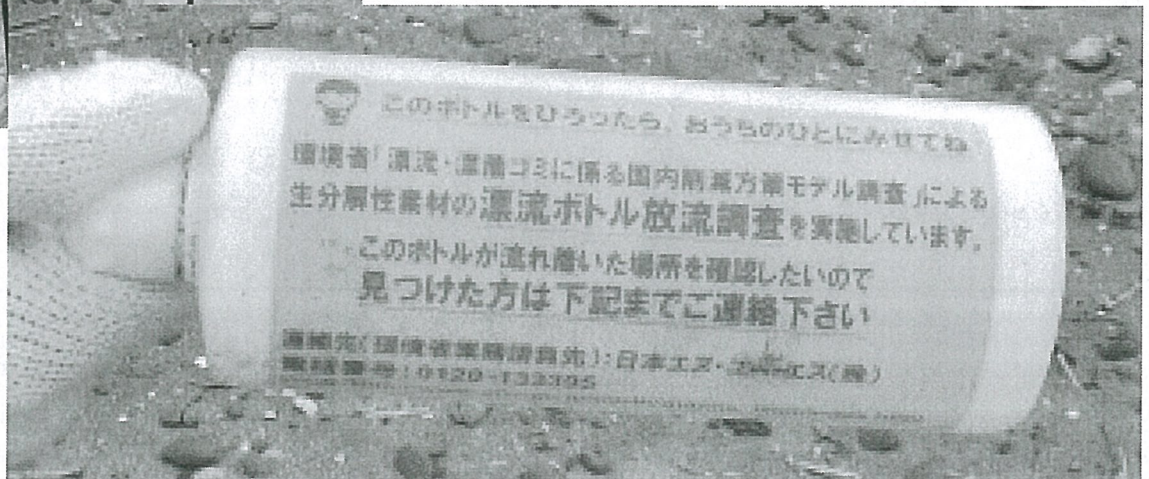


図 16 発信機付漂流ボトルの漂流・漂着経路
(放流直後～平成 20 年 1 月 12 日 12:00 までの経路)



© Zenrin © 2011 Microsoft



西の浜にたどり着くゴミ

愛知、岐阜、三重のゴミが漂着（亀の子隊報告から）

愛知県 ↓豊川

↓境川

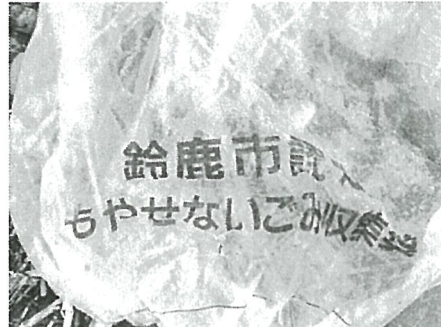
↓矢作川



三重県 ↓国交省！

↓鈴鹿川

↓雲出川



岐阜県 ↓土岐川

↓揖斐川



長野県 ↓木曾川

↑ウミガメ
海から悲しい
姿で漂着！

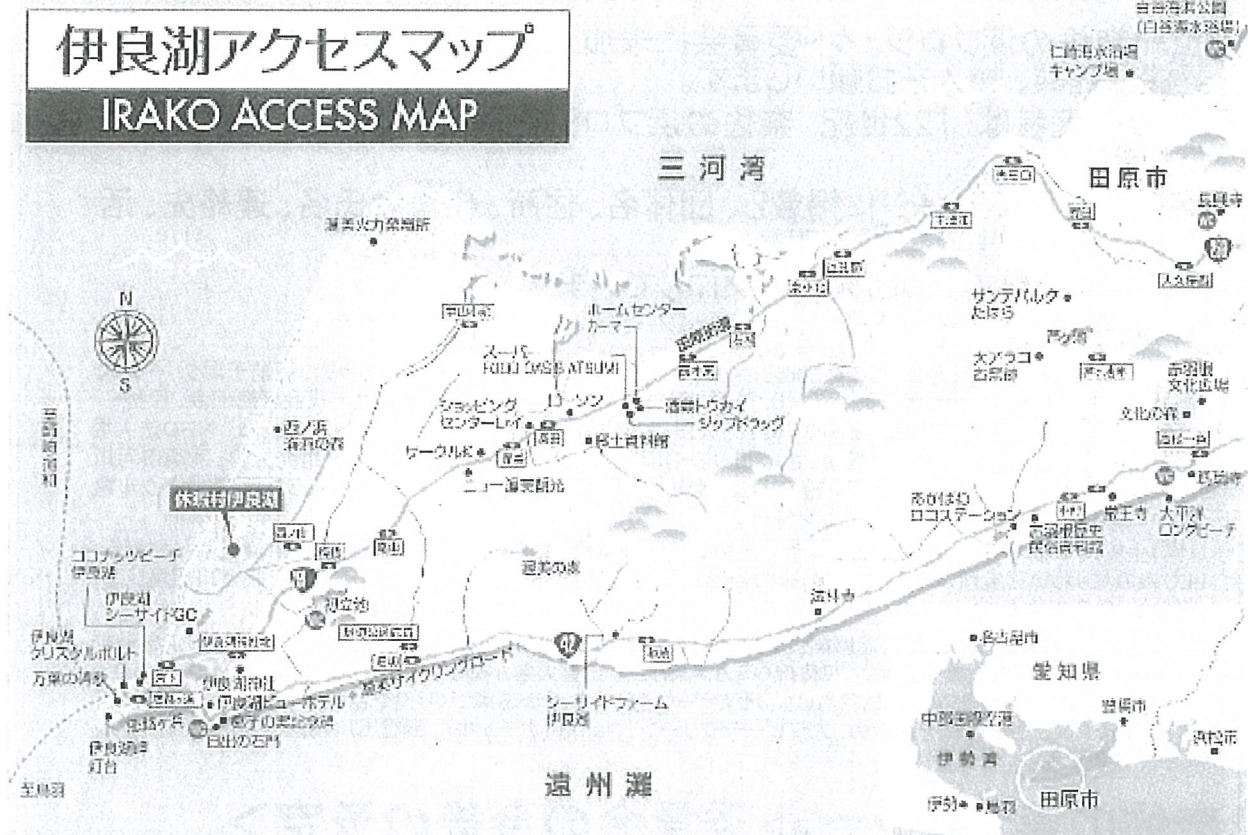


↑エイ
→スナメリ



西の浜クイズ

1. 田原市の市の花はなに？
 2. 西の浜の海岸は、延長約何km？
 3. 西の浜の連なる砂浜は、国の〇〇〇〇資源です。何資源？
 4. 西の浜は、古代から塩づくりが盛んで、製塩跡地があるが、西の浜で作られた塩が〇〇時代の都に運ばれていたという。何時代でしょうか？
 5. 亀の子隊の隊員さんが、協力者を増やすために、自分達の思いを何かに託し、企業などに送っています。その作戦とは？
 6. 亀の子隊の皆さんが、2013年度の活動で集めたゴミの量は？ペットボトルのキャップの数は？
- ※ 全問正解者には、帰りのバスで豪華景品(各バス5名)をお渡しします。(正解者多数の場合は抽選)



自然と人、人と人をつなぐリゾートホテル **休暇村伊良湖** National Park Resort **い ば こ** **Tel.0531-35-6411**
 〒441-3615 愛知県田原市中山町大松上1
<http://www.qkamura.or.jp/irako/>

注意事項

- ・本日は海岸での作業になります。サンダルなどで入らないで下さい。作業用の靴か長靴で入浜をお願いします。
- ・頑張り過ぎないで、休憩と給水に心がけて下さい。
- ・何かありましたら次に連絡下さい。

愛知県会議事務局 鈴木康平 090-8421-1037

ゴミの分別は次のようお願いします。

- ・空き缶
- ・ペットボトル（・キャップは別の白い袋に）
- ・燃えるもの プラスチック、発泡スチロール、ビニール等
- ・ビン、ガラス
- ・その他の燃えないもの
- ・その他 ※流木は時間的に余裕があれば拾います



<奈佐の浜プロジェクトからお願い>

- ・22世紀奈佐の浜プロジェクト委員会に未加入の市民団体は、本日の参加を契機に是非、加入をお願いします。
- ・各団体の代表者は、「22世紀 奈佐の浜プロジェクト委員会の委員」になっていただきます。
- ・委員名簿はホームページに掲載し、団体名、住所、代表者氏名、連絡先、活動内容を基本的に公開します。
- ・各県50団体、3県で150団体を目標にしています。
- ・現在の加盟団体
 - 【愛知県】新川をよみがえらせる会、どこでも開拓団、かすがい環境まちづくりパートナーシップ会議、藤前干潟クリーン大作戦実行委員会、庄内川ナビ歩こう会、7140、港栄第一エコクラブ、矢作川流域懇談会市民会議海部会、伊勢・三河湾流域再生交流会議、NPO法人どんぐりの会、矢田・庄内川をきれいにする会、サロンドマルシェ、NPO法人堀川まちネット、なごや舞祭衆、もり守元氣's、土岐川・庄内川森の健康診断実行委員会、戸田川発見隊、清須市河川環境美化推進協議会、NPO法人藤前干潟を守る会、土岐川・庄内川流域ネットワーク、環境ボランティアサークル亀の子隊、中部大学NPO法人ボランティアセンター
 - 【岐阜県】生田川マモロード、山菜の里いび、森と水辺の技術研究会、木曾三川フォーラム、長良川流域子ども協議会、LLC森のなりわい研究所、メタセコイアの森の仲間たち、金華山サポーターズ、奥矢作森林塾、長良川環境レンジャー協会、長良川文化フォーラム、未来塾2050、岐阜大学ESDクオリア、夕立山森林塾
 - 【三重県】鳥羽まちなみ水族館、伊勢志摩国立公園パークボランティア、マイクロ・コスモスみえのうみ、白塚の浜を愛する会、よっかいちにアマモを増やそう会、四日市ウミガメ保存会、三重大学かめつぷり、海っ子の森、水辺づくりの会 鈴鹿川のうお座、鈴鹿市立鼓ヶ浦公民館おじさんセミナー、きれいな伊勢志摩づくり連絡協議会、海蔵川探検隊うみくら、大瀬古町子供と地域の輪を育む会、大淀ビーチクリーン、Nature(ナチュル)、新雲出川物語、生ごみリサイクル思考の会、おかずきのいどころね

<奈佐の浜プロジェクト委員会の今後の予定>

- ・今年10月12日(日)に奈佐の浜海岸清掃です。
- ・毎年春の流域エクスカージョンは、三重県雲出川流域を予定しています。

「6.15 西の浜エクスカージョン」参加アンケート

2014. 6. 15

(性別) 男性 女性

(年齢) 12歳以下 13~24歳以下 25~40歳未満 40歳台 50歳台 60歳台 70歳以上

1. 「西の浜」の印象はどうでしたか？教えてください。

2. 本日の「西の浜エクスカージョン」はいかがでしたか？

良かった 良くなかった どちらとも言えない

3. 「西の浜」や「答志島」に漂着ごみが集積する実態は理解できましたか？

理解できた 理解できなかった どちらとも言えない

4. 本日の昼食（三河名物：大アサリ丼）はいかがでしたか？

良かった 良くなかった どちらとも言えない

5. 学習会はいかがでしたか？

良かった 良くなかった どちらとも言えない

6. 10月12日(日)の答志島奈佐の浜大清掃に参加しますか。

参加する 参加しない 今どちらともいえない

7. 今回の活動の感想、今後の取組への要望、などをお書き下さい。

ご協力ありがとうございました。

<差し支えなければ記入下さい>

団体 _____

氏名 _____